

2019年度 第1期

えるのす連続講座

～女性大学～

社会とつながり、心豊かに

月 日	演 題	内 容	講 師
5/28(火)	“変革”は私たちからSDGsのきほん	貧困、格差、環境破壊など、多くの課題を抱える私たちの世界を変革するため、2015年に国連で誕生したSDGs(持続可能な開発目標)から、私たち一人ひとりができることを考えます。	RCE北海道道央圏協議会 事務局長 有坂 美紀
6/4(火)	AIの活用で変わる医療・福祉の未来	現在、第3次AIブームが世の中を賑わせており、特に医療・福祉分野での動きが活発になってきています。本講座ではAIによって今何が起きているか?それによってこれからの医療・介護分野がどのように変わっていくのか?をお話します。	北海道科学大学 副学長 川上 敬
6/11(火)	女性の女性による女性のためのセンキョ	日本は男女平等指数が世界110位(149か国中)という状況です。男女差別のない社会をどうすれば作れるのか、憲法と選挙の視点からご一緒に考えましょう。	弁護士 神保 大地
6/18(火)	大人の発達障がいの理解と支援のコツ	注目されている発達障がい。どんな方も大人になります。本講座では、大人になった彼らをどのように理解し、支援していけば良いかを皆様と考えていきます。	北海道医療大学心理科学部 臨床心理学科 准教授 金澤 潤一郎
6/25(火)は男女共同参画週間講演会を行います。			
7/2(火)	民族共生象徴空間(ウポポイ)とアイヌ文化の基礎知識	2020年4月に白老町に開設する「民族共生象徴空間(愛称:ウポポイ)」はアイヌの文化復興等のナショナルセンターです。主要施設である「国立アイヌ民族博物館」「国立民族共生公園」とともに北海道の基層となるアイヌ文化について紹介します。	(公財)アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 本部長代理 村木 美幸
7/9(火)	カムチャツカの森と環境:北の樹木の生きる道	北海道も含まれる寒冷圏は、低温や乾燥など厳しい環境が特徴です。そのような環境に生きる北の樹木たちの様々な生き方を、北海道の真北に位置するロシア・カムチャツカの森を例に紹介します。	北海道大学 低温科学研究所 教授 原 登志彦
7/16(火)	これからのクルマと暮らし	コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化と自動車業界は今、100年に一度の変革期といわれています。現状と今後の見通し、私たちの暮らしがどうなるのかを考えましょう。	北海道科学大学短期大学部 自動車工学科 准教授 林 孝一
7/23(火)	変わる北海道の天気と多発する自然災害	北海道の気候は変化しています。春は早まり、秋は遅く、夏は猛暑と冷夏が隣り合わせで激しい雨が降る頻度も増えました。多発するようになった自然災害も考えましょう。知識が命と財産を守ることがあるのです。	気象予報士・防災士 菅井 貴子
7/30(火)	小林多喜二 — その時代と作品	『蟹工船』をはじめとして、近年、小林多喜二の作品が改めて見直されています。彼の生涯を時代との関わりの中でたどりながら、その作品を読み解いていきます。	札幌大谷大学社会学部 地域社会学科 教授 吉岡 亮
8/6(火)	現在(いま)を知る	政治、経済、社会、生活、文化、国際報道など、世の中の動きや出来事を読み解き、考えます。	北海道新聞社論説委員室

主催 公益財団法人 北海道女性協会
後援 北海道・札幌市・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会